

事例 1

「投票は手続きが難しそうで、時間もかかりそう…」



実はとても簡単です！

選挙に行かなかった人は「手続きが難しそうだから」というイメージを持っているのではないのでしょうか。しかし実際には▶自宅に送られてきた投票所入場券を持って、指定された投票所に行く▶受け付けで渡された投票用紙に候補者の名前などを記入する▶投票箱に投函する。これだけの作業で投票ができます。

なお、もし投票所入場券を忘れてたり、なくしてしまっても、投票所受け付けで運転免許証などを提出し、本人確認ができれば投票できます。

選挙における投票の手順

- ①「投票所入場券」を持って、投票所へ行く
- ②受け付けを済ませ、投票用紙を受け取る
- ③候補者の名前などを投票用紙に記入する
- ④記入した投票用紙を投票箱に投函する

事例 2

「投票日って日曜日だし、当日は忙しくて行けないかも…」



投票日当日以外でも、事前に投票ができます！

学校や仕事だけでなく、旅行、レジャーや冠婚葬祭などの理由で投票日当日に投票所へ行けないとき、投票できるのが「期日前投票」です。

投票日当日、投票に行けない理由を宣誓書に書く必要がありますが、当日の投票と同じように、簡単に投票できます。なお投票所入場券の裏面に記載されている宣誓書にあらかじめ必要事項を記入することで、よりスムーズに投票が行えます。

投票日当日に投票に行けない人は、期日前投票をぜひご利用ください。

9月6日執行の県知事選挙・県議会議員選挙の期日前投票の場所、時間などについては、5ページをご確認ください。

【不在者投票】

選挙期間中に仕事や旅行などで、他の市区町村に滞在していて、平泉町で投票ができない場合は、滞在先で不在者投票をすることができます。投票するには、町選挙管理委員会へ投票用紙などを請求する必要があります。手続きには日数がかかりますのでお早めに手続きをしてください。

また、不在者投票の指定施設などに入院している人などは、その施設で投票できます。

【郵便などによる不在者投票】

身体に一定の重度障がいなどがある人は、「郵便等投票証明書」の交付を受ければ、郵便を使った投票ができます。

選挙クイズ

- ①日本の選挙はいつから始まったでしょうか？
- ②江戸時代
- ③明治時代
- ④第2次世界大戦後

- ①くじ引き
- ②じゃんけん
- ③年齢が上の候補者

- ③投票所が一番早く来た人は、あることができます。それは何でしょうか？
- ①記念品がもらえる
- ②投票箱の中を確認できる
- ③記念写真を撮影できる

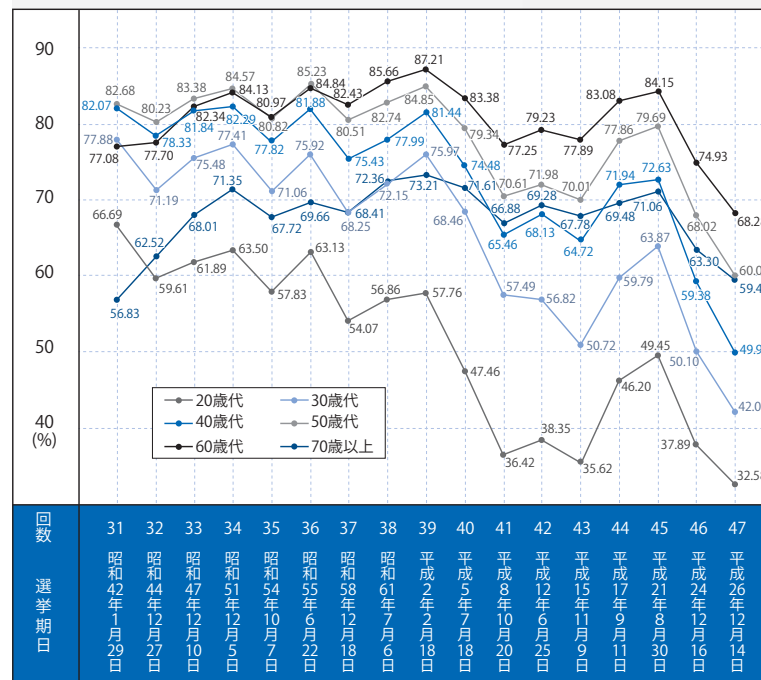
- ④各選挙の投票日は何曜日に行う？
- ①土曜日
- ②日曜日
- ③特に指定はない

※答えは次のページへ

【特集】選挙 未来をつくる一票

政治に興味があっても投票には行かない…。これが今の現状です。では、その興味を「投票する」という形に移すにはどうすればいいの—選挙に関する疑問などに答えながら、選挙について一緒に考えていきましょう。

【表1】衆議院議員総選挙年代別投票率の推移



(資料)公益財団法人明るい選挙推進協会データより引用

この改正法により、新たに加わる18、19歳の有権者数は約240万人で、全有権者の約2割を占めることとなります。平成28年6月施行後初の国政選挙が最初の適用対象となり、その後地方の首長・議員選挙にも順次適用されます。

また18歳以上の未成年者であっても、買収などの重大な選挙違反があった場合は、少年法の特例措置として成人と同様の処罰を受けることとなります。

未来を担う若者が早くから主権者として政治に参加することは大きな意義があります。

表1は衆議院議員総選挙年代別投票率の推移です。近年の選挙では投票率が下がっており、国民の政治離れが叫ばれています。そして若年層ほど投票率は低く、特に20代の投票率が全体を大きく下回っています。

日本は少子・高齢化の影響で、若者の数が少なくなっています。「政治に興味がないから」といってこのまま若い世代の投票率が下がっていくと、いつまでたっても若い世代の政治に届かず、他の世代に比べて、暮らしにくい社会になるかもしれません。若い世代の声を政治に届ける、つまり一人一人がきちんと投票していくことで、若い世

【表2】平泉町における投票結果一覧(過去3年分)

投票日	名称	投票率
平成26年12月14日	第47回衆議院議員総選挙	65.44%
"	最高裁判所裁判官国民審査	64.07%
平成26年8月10日	平泉町長選挙	78.21%
平成25年7月21日	第23回参議院議員通常選挙	64.62%
平成24年12月16日	第46回衆議院議員総選挙	70.23%
"	最高裁判所裁判官国民審査	68.84%
平成24年4月1日	平泉町議会議員選挙	74.58%

代のための政策も増えていき、若い世代も暮らしやすい社会になっていきます。

また町全体における過去3年分の投票率は表2のとおりです。全ての有権者が投票を行うことにより、さまざまな意見が反映され、議論が活発になり、私たちの生活がより良く変わっていくはずですよ。

次ページ以降では、選挙をより身近に感じ、投票できるよう事例を紹介しています。